



道徳だより

2月号

南砺市立井波中学校
令和5年2月20日発行

道徳だよりを通して

「道徳だより」も今年度最終号となりました。道徳だよりを通して、子供たちの道徳の学びや保護者の皆様の思い等を共有することができたのではないかと思います。これまで、道徳教育に関するアンケートやコメント等にご協力いただき、ありがとうございました。これからも井波中学校の特色である道徳性の高い学校を目指して、諸活動に取り組んでいきたいと思ひます。

保護者の皆様より

- ・自分にとって何が大切なのか考えるよい機会だと思います。
- ・大切なものや人に気づき、強く思う気持ちは素敵なことだと思います。

2学年



「本当の私」の感想から

- ・自分を変えたいときは、ズルをせず、周りに流されないようにして、強い心をもちたい。
- ・苦しいときには、無理をせず、また自分がやりたいと思うことを見つけたい。
- ・後悔しないように生きていきたい。

ドーピングに手を出してしまった世界陸上選手、エイミーを通して、誇りをもって生きることの大切さについて考えました。悩みながらも葛藤し、自分の弱さを克服して、自分らしく生きていくエイミーの姿勢に心を動かされました。

3学年



「足袋の季節」の感想から

- ・私も自分の気持ちを表現しないまま、1年以上、友達に本当のことが言えなかった。自分の気持ちを大切にしていきたい。
- ・課題を後回しにしてしまい、後悔したことがあったので、高校では計画的に学習したい。

嘘をついてお金をだましとって後悔している主人公の心情に触れ、誇りをもって生きていくことの尊さを学びました。後悔しても過去は戻ってこないため、今を精一杯生きていくことの大切さに気づきました。

1学年



「家族の思いにふれて～靴～」の感想から

- ・正直に言っても心配されるけれど、本当のことだから、親だけではなく友人等、いろいろな人に言った方がいいと思う。
- ・本人が言いにくいのなら、無理せずに言わなくてもいいと、友人としてアドバイスしたいです。

主人公の靴が学校でなくなり、両親を不安にさせまいと気遣って事の詳細を話さずに翌朝登校すると、靴箱に靴が置かれていたという話です。家の人はどう話すかを考え、家族への思いを深めました。

キリトリ

道徳だより2月号 返信

(年 お名前

)

※こちらからも返信できます。(回答フォームが開きます)

